

令和5年度 事業報告

1. 事業の経過及びその成果

(1) 事業の状況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染法上の分類引き下げに伴い社会活動の正常化が進むとともに、各種政策による雇用・所得環境の改善から個人消費も増加し、景気は緩やかに回復してまいりました。しかし一方で、国際情勢の悪化や円安による原材料やエネルギー価格の高騰等もあり経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

こうした環境のもと、当社につきましては、ホテル事業において、新型コロナウイルスの分類引き下げ以後、スポーツ合宿など団体利用の増加やビジネス客の需要回復もあり、宿泊部門においては前期比約 25 百万円 (7.9%) の増収、宴会部門においては飲食を伴う会合等は増加したものの、ワクチン大規模接種会場としての利用が終了したこともあり前期比約 6 百万円 (2.4%) の減収となりましたが、事業全体では前期比約 37 百万円 (3.7%) の増収となりました。

不動産事業につきましては、駐車場利用の増加に伴い前期比約 2 百万円 (0.4%)、施設管理事業につきましても、受託業務の増加により前期比約 36 百万円 (2.2%) の増収となりました。

設計管理事業につきましては、鹿島開発関連事業の進展に伴う受託業務の減少により、前期比約 71 百万円 (20.8%) の減収となりました。

土地管理事業につきましては、工事関係業務の増加に伴い約 2 百万円 (1.9%) の増収となりました。

この結果、当期の売上高は、約 3,487 百万円 (前期比 0.2%増)、経常利益は約 274 百万円 (前期比 19.2%減)、当期純利益は約 257 百万円 (前期比 19.8%減) となりました。

(2) 対処すべき課題

今期におきましては、令和6年10月に予定しております、鹿島セントラルビル（ホテル事業・不動産賃貸業）事業譲渡に向けて手続きを進めてまいります。

ホテル事業につきましては、グランドフィナーレに向けた各種プランやフェアを通してホテル利用者の増加を図り、収益の確保に努めてまいりますとともに、既存予約者や従業員等の円滑な引継ぎが行えるよう、準備を進めてまいります。また、不動産事業につきましても、テナント入居者の円滑な入居継続に向けて準備を進めてまいります。

施設管理事業及び設計管理事業、土地管理事業につきましては、発注者からの高い信頼性を得られるようこれまで培ってきた技術や知識を活用して、受注拡大に努めてまいります。

なお、今期は第四次中期経営計画の最終年度に当たることから、計画項目の成果を的確に精査を行うとともに、新たな経営戦略を踏まえた次期計画を策定し、効率的運営体制の構築を進め、売上拡大や経費削減を図り、利益の確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。